



令和4年8月度の活動



8/7(日)滝ヶ窪園場:セタづくり(現在では、ほとんど行なわれていませんが、農地保全活動の一つとして、五穀豊穡の祈願して行ないました。)・竹灯籠(森づくりを行なっている仙郷の森で発生している孟宗竹を活用しています)



きれいに
してくれて、あ
りがとう



水の中の
ものが良く見
えるだろ
う!



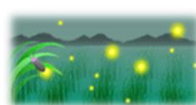
8/21(日)リバーフレンドシップ 偕楽園:不動の滝下流で、ゴミ拾い、水質調査・透視度観察を行ないました。両方の検査では良好で、こども達に地域の川が汚れていない様子を紹介できました。十数年前に比較すると河川のゴミは、減ってきています。(今後もこのような状況が続けて行けば、未来の子どもたちへ里山の環境が継承できると思われます)

ポイと捨てられたゴミが川から海へ

私たちの生活から出たゴミが、水路や川を通して海に出て行くことを、リバーフレンドシップを実施する毎年8月・2月の活動を通じて、こども達と話し合っています。

町にポットと捨てられたゴミは水路を通じて川に入ります。川原や遊歩道にポイ捨てされたゴミも川に入って流されてしまいます。ゴミ集積場にきちんと出したはずのゴミが、カラスや猫に荒らされて、水路や川に入ってしまうこともあります。

川から海へ流れたゴミで海の生物が苦しんでいます。そして、沢山の生きものが死んでいます。日頃からゴミを川へ流さないようにしましょう。



☺☺《親子体験学習》☺☺

- ◇日 時 令和4年9月25日(日) 9:00～15:00
 ◇集合場所・時間 仙郷の森 ・8:45
 ◇活動場所 仙郷の森
 ◇対 象 者 小学生親子・中学生・高校生・一般(大学生・社会人)
 ◇活動内容 動植物の観察・ネイチャーゲーム・森の音楽会
 ◇服 装 長ズボン・長袖シャツ・運動靴
 ◇参加費(保険代300円):小学生親子・中学生以上
 ◇持 物 飲み物・タオル・筆記具・マスク・帽子
 ※参加者の方は9/22までに連絡をお願いします。(090-2689-6913(須藤))
 ※雨天:中止

『里山会公文名ファイブのファイブとは?』

- ・農地・森林の荒廃地を防ぐための活動
 - ・林利用しての福祉活動(健康づくり・体不自由な人も利用できる森づくり)
 - ・里山に生息する動植物の増殖(落葉広葉樹を殖やす)
 - ・里山文化の復活(子供たちへの継承)
 - ・地域のコミュニケーションづくり
- “この五つを基本として活動を行っています。”



☺☺昆虫・野鳥が集まる「仙郷の森づくり」参加者募集☺☺

- 日 時 毎週木曜日●活動時間 10:00～14:00
 ●集合場所:仙郷の森(多目的広場)●対 象:森づくりをやりたい方
 ●活動場所 仙郷の森(多目的広場)●活動内容 雑木・竹伐採片付け等・落葉広葉樹植樹
 ●参加費 無料●服 装 作業できる服装 ※道具はお貸します。
 ●持 物 弁当・手袋・帽子・飲料水・マスク
 ※参加してみたい方で、木曜日以外に参加希望の方は須藤まで連絡をお願いします。090-2689-6913
 ※活動場所が分かりにくいので、参加者に後日、連絡します。

豊かな森は、自然からのかけがのない恵みです「森と環境」

森が電気になる！ 木を使って、私たちの暮らしに必要な電気を生み出すこと。それが「バイオマス発電です。バイオマスとは、木をはじめ、トウモロコシなどの農作物といった生物由来の資源のことです。それらを燃やすことで発電所のタービンを回して電気をつくります。バイオマス発電は環境にやさしいのが特長。①使うのは、木などの再生可能な資源です。太陽光発電や風力発電と共に、再生可能なエネルギー社会を実現していきます。②間伐材や木材の残材などを燃料にするため、森林資源の有効活用につながります。③木は成長しながらCO2を吸収しています。燃やしたときにCO2が発生しても、結果的にCO2の量を増加させないことになり、地球温暖化(ちきゅうおんだんか)の防止につながります。バイオマス発電所は、日本はもちろん、海外でも造られています。その数が増えていけば、石油や石炭などに代わるエネルギー源として、救世主の役割を果たす可能性があります。



「野鳥・昆虫が寄ってくる森づくり」をNPO法人里山会公文名ファイブが仙郷の森で行なっています。是非、遊びに来てみてください。

地球は、人間だけが住むだけの場所ではない、動植物が一諸に暮らす場所です。